

ツマグロキチョウ

Eurema laeta betheseba

兵庫県：要注目

環境省：絶滅危惧 I B類(EN)

種の概要

前翅長16～22mm程度。前後翅ともに黄色で、前翅端は黒い。後翅裏面には褐色条がある。河川敷などの草地に生息し、幼虫はカララケツメイを食べる。年多化性で、年3～4回発生する。成虫で越冬する。



写真提供：近藤伸一

国内分布

本州、四国、九州、対馬、屋久島、種子島

県内分布記録

神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、明石市、加古川市、三木市、小野市、加西市、多可町、姫路市、神河町、市川町、福崎町、相生市、赤穂市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、洲本市、南あわじ市、淡路市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

特記事項

県南部地域での減少が著しく、北部においても個体数が激減している。食餌植物であるカララケツメイの生育環境（荒廃地）が減少しているためと考えられる。

保護上の留意点